

グリーティング

眩しい光に誘われて、散歩に出かけました。風は冷たく、指先はこごえてポケットに手を入れたい位です。つつい背中を丸めて歩いてしまい、何度か立ち止まっては背すじを伸ばし光をいっぱい浴びました。やわらかいあたたかさが心地良く、深呼吸すると体中にうれしさが充ちてきます。

足元に目をやると、地面には小さな草達が混ざり合い蔓延るように生きています。色も形も違うさまざまな草は、見ていて全く飽きません。ゆっくり歩きながら目を移すと、土の中から若草色のふきのとうが顔を出しています。ふき味噌を作ろうと思って、いくつか持ち帰りました。春を連れて帰ったような気分でした。



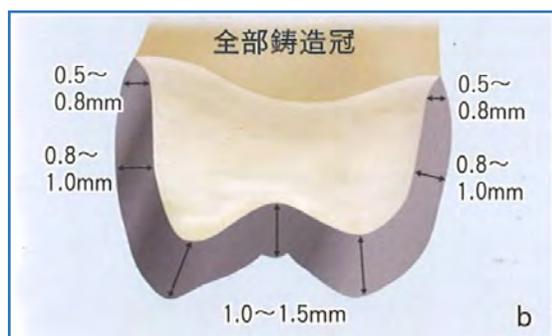
ふきのとうが顔を出しました。いよいよ春の到来ですね。

S. K

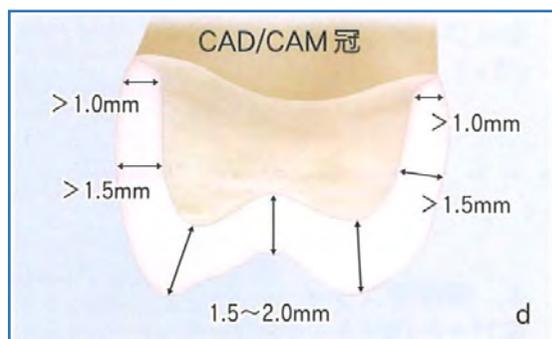
技工情報

◎全部铸造冠とCAD/CAM冠の支台歯形成の違い

〈上顎大臼歯のクラウンの支台形態・削除量〉



- ・歯質削除量 : 少ない
- ・辺縁形態 : シャンファー
0.5~0.8mm程度
- ・辺縁設定位置 : 歯肉縁から縁下0.5mm
- ・ラインアングル : 鋭縁部を残さない
- ・テーパー : 原則は片側 2~5°



- ・歯質削除量 : 多い
特に咬合面(内外斜面、中心窩)
- ・辺縁形態 : ディープシャンファー、
ラウンテッドショルダー
- ・辺縁設定位置 : 歯肉縁から縁下0.5mm (※1)
- ・ラインアングル : 全部铸造冠より更に丸みを (※2)
- ・テーパー : 原則は片側 5~10° (※3)

(※1) 光学印象を考慮すると限りなく歯肉縁に近く、もしくは縁上が望ましくなる

(※2) 内面切削加工の限界の為

(※3) 臨床的には装着が接着に依存する為、全部铸造冠よりテーパの許容範囲が大きくなる